

令和6年度 長崎市立茂木中学校 夢に向かって未来を切り拓く 学力向上プラン

校訓
信頼 向上

学校教育目標：自ら学び、心豊かでたくましく、社会に貢献する自立したひとづくり

学校経営方針

基本理念：生徒は未来である。その未来に光を当て、活かし、伸ばす。
スローガン：起こせ茂木の風～挑戦と感動～

めざす学校像：一人一人が輝き、笑顔あふれる茂木中学校 ～学校は夢と感動ある「楽しい学校」であいたい～

- 1 生徒にとって居場所となる「行きたい学校」
(1) 「楽しい学校」 (2) 所属感のある学校 (3) 夢や目標を持てる学校
- 2 保護者や地域にとって信頼と安心感のある「行かせたい学校」
(1) 外に開かれた学校 (2) 願いに応える学校 (3) 共に育てる学校
- 3 教職員にとって教育実践が楽しい「やりがいのある学校」
(1) 同僚性のある学校 (2) 一枚岩の学校 (3) 働きやすい学校

そのために・・・

- 1 確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成（行きたい学校）
(1) 主体的・対話的に深く学び合う授業の推進
(2) いじめを許さない心と集団づくり、自己有用感がある学級経営、豊かな人間性を 育む道徳教育の推進
(3) 一人一人が夢や目標を語り、将来の志が持てるキャリア教育の推進
- 2 信頼される学校づくり（行かせたい学校）
(1) 茂木の人材を活用した総合的な学習や地域性を生かした体験的学習や行事の推進
(2) 学校改善を目指した学校評価の工夫と活用、改善
(3) 経営方針や各種情報の開示と共有、積極的な相談、外部機関の活用
- 3 教師が笑顔で元気に教壇に立てる職場づくり（やりがいのある学校）
(1) 職員同士が仲良く協調し、開かれた人間関係と協働体制の確立
(2) 共に学び生徒に還る実践を行う開かれた校内研修
(3) 学校における働き方改革を着実に推進するための組織的な対応

—長崎市立茂木中学校 研究主題—

一人一人が見通しを持って生き生きと学ぶ授業づくり
～特別支援の視点を活用し、生徒のわかる授業の工夫～

○研究の視点

- 1 協働の場を設定し、特別支援を意識した授業づくり
- 2 ICT機器の有効活用の実践

—研究組織—

授業改善研究部

ICT活用研究部

※それぞれの研究内容については、「学力向上を支える校内研修」を参照

学力調査・学校評価アンケート等の分析を生かした取組と目標

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を土台として

1 基礎基本の定着 【目標：（学力調査）市・県・全国平均以上】

- ① 生徒指導と学習規律の徹底（生徒指導の共通実践 授業の5つの約束の徹底）
- ② めあてとまとめが確実に生徒に届く授業実践
- ③ ICT機器の効果的な活用
- ④ 朝自習でのAI型教材の活用
- ⑤ テスト前の補充学習の実施
- ⑥ 読書の量と時間確保（朝読書、図書館司書との連携等）

2 思考力・判断力・表現力の向上 【目標：（学力調査）市・県・全国平均以上】

- ① 「書く活動」や「表現力育成」を重視した授業づくり
- ② 生徒自身が自分で考え課題に向かう場面づくり
- ③ 生徒同士や多様な他者との協働的な学びの拡充
- ④ 学んだことや自分の考えをアウトプットする場面づくり

3 個に応じた教育の充実 【目標：（学校評価）先生の授業はわかりやすい。肯定的80%以上】

- ① TT等を有効活用し、普通学級の特別な支援のいる生徒に対する共通理解
- ② ユニバーサルデザインによる授業づくり・教室環境づくり
- ③ アセスによる実態把握
- ④ 校内別室支援員や学校サポーター等の多様な人材の活用と関連機関との連携

4 家庭学習習慣の定着と質の向上 【目標：（質問紙調査）家庭学習平日1時間80%以上】

- ① 家庭学習につながる授業の振り返りの工夫
- ② 週末、クロムブックでのAI型教材の活用
- ③ PTAでの啓発
- ④ 家庭学習の仕方の指導

5 夢や希望を抱く 【目標：（質問紙調査）将来の夢や目標を持っていますか。肯定的80%以上】

- ① キャリア教育の充実（系統性のあるキャリア指導の充実）
- ② 職場体験、職場訪問を通して望ましい勤労観・職業観の育成

学力向上を支える校内研修

(1) 授業改善研究部の取組

- 1 特別支援を意識した授業の在り方に向けた研究
「校内研究授業の実施」
- 2 学力の基礎・基本及び学習規律の指導
「授業の5つの約束」
- 3 授業と連動した家庭学習の工夫
「自主学習の習慣化」「週末課題」
- 4 朝自習の実施と検証
「キュビナの効果的活用」

(2) ICT活用研究部の取組

- 1 ICT機器の有効活用方法の工夫
「一人一台端末」「電子黒板」
 - 2 クロムブック活用場面の授業参観と共有化
 - 3 キュビナの効果的な活用の実践
- ※クロムブック使用ルールの徹底（生徒指導部と連携）

PLAN 学力向上計画～重点目標と対策

- ◇学校経営方針の策定
- ◇学力向上プランの作成
- ◇授業改善計画の作成
- ◇各教科の年間指導計画の作成
- ◇キャリア教育計画の作成

ACTION 課題解決と改善と実践

- ◇成果と新たな課題の洗い出し
- ◇全体計画・年間指導計画の見直し
- ◇教育課程の工夫と改善
- ◇校内研修テーマの見直しと改善
- ◇授業改善計画の見直しと改善

DO 計画に基づく指導実践

- ◇学力向上プランに基づく実践
- ◇授業改善計画に基づく授業実践
- ◇学習規律の徹底指導
- ◇思考力・判断力・表現力を育成する言語活動指導
- ◇ICTの活用による学習意欲の向上
- ◇主体的・対話的で深い学びのある授業実践

CHECK 実施状況の調査と分析・評価

- ◇各種学力調査・質問紙等の分析
- ◇学校評価アンケートの分析
- ◇授業アンケートの実施と分析
- ◇生徒実態調査の分析
- ◇授業研究会の充実
- ◇定期・実力テストと学期末評価

学力向上を支える家庭（保護者）との連携

(1) 家庭学習の時間確保と学習習慣の定着

- ① 自主学習とAI型教材による家庭学習の充実
 - ② ノーメディア・チャレンジの実施
 - ③ PTAでの積極的な啓発
- #### (2) 読書の時間確保
- ① 長期休業中の図書室開放
 - ② 司書による啓発
 - ③ 図書イベントの実施（ビブリオバトル）

学力向上を支える地域そして小学校との連携

(1) 小学校との連携

- ① 小中合同研修
- ② 乗り入れ授業・交流行事・おたがいの授業参観

(2) 地域との連携

- ① 総合的な学習の時間での探究的な学び（茂木学）
- ② 地域行事の連携（ふれあい祭り、ペーロン大会）
- ③ キャリア教育（職場体験学習）
- ④ トムソーヤーズクラブによる読み聞かせ
- ⑤ 保護司による講話